

# 令和4年度 グリーンイノベーション創出支援業務委託 仕様書

## 1 目的

本市では、市内中小企業を中心とした環境行政に係る知見と環境技術を組み合わせ、産業振興と国際貢献を推進し、国際競争力強化と脱炭素社会実現を牽引するための様々な取組を実施している。

本業務は、そのような取組の一環であるかわさきグリーンイノベーションクラスター（以下「G I C」という。）と川崎国際環境技術展（以下「技術展」という。）を起点とするビジネスマッチングを通じた、脱炭素社会への貢献と、事業化、収益獲得を実現する新たなプロジェクトの発掘及び育成を目的として実施する。

プロジェクトの実施においては、市内中小企業が参画するプロジェクトを中心とした幅広い伴走支援を行い、その成果について市内外に広く発信することで、プロジェクトを育成する。

あわせて、脱炭素化に未だ取り組めていない市内中小企業に対し、脱炭素化に向けた意識を醸成する取り組みを行うことで、プロジェクトの源泉となるG I Cへの参加企業を増やすことを目的とする。なお、G I C及び技術展の概要については別紙（参考）を参照すること。

## 2 委託実施期間

契約日から令和5年3月31日までとする。

## 3 業務内容

### (1) 新たなプロジェクトを創出するためのマッチング支援業務等の実施

G I Cプロジェクト（※）を7件以上形成すること。なお、プロジェクトはG I C内で複数年に渡って進行中のものも件数に含めるものとするが、うち3件以上は本委託実施期間内に新規で開始するものとする。また、委託実施期間中にビジネスマッチング（※）を600件以上（うち400件以上は3（1）イにおける技術展のビジネスマッチングとして）創出すること。

プロジェクトの創出に向けては、次のア～エに示す業務を実施すること。

（※）G I Cプロジェクト：プロジェクトのうち、以下の点を満たすもの。

①市内中小企業等によるG I C会員の参画による、国内外における環境改善に資する技術やサービスの開発、改良、ビジネスモデルの検証等を行う事業であること。

②事業構想計画の策定時点から、フィージビリティ・スタディ、基礎研究を経て事業化に向けた実証試験を終了するまでの、いずれかの開発段階にあること。

（※）ビジネスマッチング：本委託業務においては、G I Cや技術展内で創出したコンタクト（対面、オンラインによる商談の可能性のある接触数）をビジネスマッチングの件数としてカウントする。ただし、以下で示す商談会等を活用しながら、G I Cプロジェクトの組成への確度を高めるため、対面による1対1の面談の機会を積極的にコーディネートすること。

#### ア G I Cにおけるビジネスマッチングの創出

##### （ア）G I Cにおける新規会員の誘致

3（3）ア等の普及活動を通じて、環境ビジネスに関心があり、特に特定のシーズを有する市内中小企業を新規会員としてG I Cに参画させること。

##### （イ）G I C交流会等マッチング創出企画の実施

委託実施期間内にG I C交流会（※）を2回以上実施し、事前、当日及び開催後の運営支援を行うこと。また、その他委託業務期間を通じて、会員同士のビジネスマッチングを促進すること。なお、委託者との協議により対面、オンラインのいずれかにより開催するものとする。

（※）G I C交流会： かわさきグリーンイノベーションクラスター会員及び関連するネットワーク、研究機関等が交流し、新規プロジェクトを創出するための場。通常、事業・事例紹介及び交流会の2部制により開催する。

- a 事前準備として、企画提案、出欠確認、資料作成・印刷等を行うこと。なお、対面で開催する場合、会場の確保については委託者が行う。
- b オンライン会議形式で開催する場合は、WEB会議用端末やスピーカー等、必要な機器を用意すること。また、WEB会議開催に精通した人員を配置すること。
- c 参加者同士がマッチングするための交流会を企画、実施すること。
- d 参加者に対して開催後にメール等によりアンケートを実施し、満足度等について把握すること。また、交流会参加者については協議状況についてヒアリングを行い、次のマッチングやプロジェクト化に向けたフォローアップを行うこと。

#### イ 第15回川崎国際環境技術展におけるビジネスマッチング創出

第15回技術展の開催期間中及び開催期間前後において、ビジネスマッチングを合計400件以上創出するための企画を具体的に提案し、実施すること。また、マッチングの実施にあたっては自動受付による申し込みを行うためのWEBフォームを構築し、受託者で管理すること。

※以下（ア）～（オ）の業務実施にあたっては、第15回技術展運營業務受託者と連携すること。

##### （ア）出展者とのマッチング対象者の招へい

3（1）イ（ウ）及び（エ）における出展者とのマッチング対象となるバイヤー等を技術展に招へいすること。なお、30者以上の招へいを目標とする。

##### （イ）技術展会期前の出展者交流会を通じたマッチングの創出

第15回技術展出展者同士のマッチングを図るため、開催期間前にオンライン上での交流会を企画、実施すること。

- a 事前準備として、企画提案、出欠確認、資料作成・印刷等を行うこと。

##### （ウ）技術展会期中のマッチング創出

第15回技術展展示会会期中に出展者とのマッチングを行えるよう企画・提案すること。

##### （エ）技術展会期後の商談会を通じたマッチングの創出

第15回技術展の一環として会期後に開催される商談会（技術展会期後1ヶ月程度を目途に実施予定）を企画し、受付及び事前のマッチングコーディネートを実施すること。

- a 事前準備として、企画提案、出欠確認、資料作成・印刷等を行うこと。
- b 商談会は原則対面式による開催とするが、参加者の希望に応じてオンラインでも行うものとする。なお、対面式商談会の会場は第15回技術展運營業務受託者で手配する。オンライン会議形式で開催する場合は、WEB会議用端末やスピーカー等、必要な機器を用意すること。また、WEB会議開催に精通した人員を配置すること。
- c 対面式商談会の主な参加者については、技術展の出展者のうち参加希望のあった50社程度及びビジネス登録来場者を想定し、効果的でスムーズなマッチングが行えるように調整する

こと。また、必要に応じて3（1）イ（ア）で招へいた来場者等とのマッチングも併せて調整すること。なお、最終的な参加者については委託者と協議の上決定すること。

（オ）（イ）～（エ）の参加者に対するフォローアップの実施

（イ）～（エ）において創出された各マッチングについて、開催後メール等により結果やその進捗状況等についてアンケート調査を行うこと。また、技術展及び商談会終了後、出展者へアンケート調査を行うこと。あわせて、回答のあった団体の中から委託者と協議の上、次のマッチングやプロジェクト化に向けたフォローアップを行うこと。

ウ 第14回技術展出展者追跡調査の実施

令和3年度に実施した第14回技術展の出展者（行政関係等を除く90～100団体程度）に対する追跡調査として、第14回技術展開催以降の商談実績に関する調査票を送付し、回答があった団体の中から技術展のマッチングにおいて成約等した企業数社（7件程度）を、委託者と協議の上選定し、ヒアリングを行うこと。なお、調査票は原則メールにより展開し、調査結果及びヒアリング結果について委託者に適宜報告すること。

※参考実績：第12回技術展追跡調査における回収率は78%以上。

エ 中小企業ボトムアップ業務の実施

脱炭素化に未だ取り組むことが出来ていない市内中小企業に対して、市内産業全体の脱炭素化に向けた意識醸成を促進するセミナー等の企画を1回以上開催すること。なお、委託者との協議により対面、オンラインのいずれかにより開催するものとする。セミナー等の企画にあたっては、委託者と協議の上G I C会員・協力団体数の拡大にもつなげるよう配慮すること。

※セミナー等に参加する講師等の謝礼金も見込むこと。

※対面で開催する場合、会場の確保については委託者が行う。

（2）先鋭的なプロジェクトを創出するための伴走支援業務の実施

3（1）において創出されたG I Cプロジェクト若しくはその候補となるマッチング事例（以下、「伴走支援対象」とする。）に対し、事業化、収益獲得を実現する先鋭的なプロジェクトとなるための伴走支援業務を実施すること。

なお、伴走支援対象は委託者との協議により決定し、本委託業務期間中に3件以上実施するものとする。

ア 伴走支援業務の実施

（ア）伴走支援対象に対するヒアリングシートの作成

伴走支援対象に対して事業化に向けた技術、事業体制、資金、知的財産等の課題に関するヒアリングを行い、必要としている支援内容をヒアリングシート（記載例については別紙参考）にまとめること。

（イ）G I C懇談会（※）の開催及び運営支援

伴走支援対象に対する支援メニューの検討等を行うため、委託実施期間内にG I C懇談会を2回以上開催し、事前、当日及び開催後の運営支援を行うこと。なお、委託者との協議により対面、オンライン、書面のいずれかにより開催するものとする。

（※）G I C懇談会：J E T R O、川崎市産業振興財団等の協力団体から選出された委員（概ね

15名程度)で構成され、伴走支援対象に対する支援メニューの検討、G I C活動(プロジェクトの進捗状況)の報告、G I Cの運営にかかる意見交換等を行う。

- a 事前準備として、企画提案、出欠確認、資料作成・印刷等を行うこと。なお、対面で開催する場合、会場の確保については委託者が行う。
- b 当日の運営支援として、会場設営、飲料(15本程度)の用意等を行うこと。
- c 出席した学識者(対象1名・1回分)に対する謝金として税込12,500円程度を見込むこと。
- d オンライン会議形式で開催する場合は、WEB会議用端末やスピーカー等、必要な機器を用意すること。また、WEB会議開催に精通した人員を配置すること。
- e 当日の議事録を作成するとともに、各委員から提供された情報を精査し、伴走支援対象に対する支援内容提案書に反映させること。

#### (ウ) 伴走支援対象に対する支援内容提案書の作成、支援内容の決定

G I C懇談会の意見を踏まえた支援内容提案書を受託者で作成し、委託者と確認の上、伴走支援対象の了承を経て支援内容を決定すること。

支援内容提案書には事業化に向けた計画と併せて、3(2)ア(イ)において示された課題に対するアドバイザー、補助事業等の案を記載すること。なお、アドバイザーの選定にあたっては幅広い分野においてそれぞれ専門性を有する人材を委託者と協議の上決定するとともに、必要に応じて、数名程度、委託者が推薦する専門家を登用するものとする。

#### (エ) 伴走支援対象に対する支援業務の実施、報告書の作成

伴走支援対象の進捗管理を行うとともに、本委託実施期間内に各伴走支援対象毎に最大3回委託者、受託者及び3(2)ア(イ)において決定したアドバイザー同席のもと現状の進捗報告及び報告に対する意見交換を行うこと。また、意見交換の内容について受託者で報告書を取りまとめ、委託者に提出すること。

#### (オ) アドバイザーへの謝礼

アドバイザーへの謝礼の支払いは受託者で行うこと。なお、金額は3(2)ア(エ)における支援業務1回につき税込70,000円、本委託業務期間内において合計9回以上を見込むものとする。また、支援業務の実施が見込みの回数に満たない場合は、本委託業務の支払い時に精算を行うこととする。

#### イ 伴走支援対象に対する支援内容報告の実施

##### (ア) 第15回技術展における中間報告資料の作成支援

第15回技術展における伴走対象ごとの中間報告(発表)について資料作成の支援を行うこと。

##### (イ) G I C懇談会における最終報告資料の作成支援

G I C懇談会における伴走対象ごとの最終報告(発表)について資料作成の支援を行うこと。

#### (3) G I C運営支援業務の実施

##### ア G I Cに関する普及活動の実施

展示会への出展、会員向けメールマガジン、川崎市グリーンイノベーションホームページ(UR

L : <https://www.kawasaki-gi.jp/>) 等により、G I Cを効果的にPRすること。また、第15回川崎国際環境技術展(令和4年11月14日(月)~18日(金)のうち2日間で開催予定)へのブース出展を行うこと。なお、ブース出展料は税込72,000円程度を見込む。

国内外における環境行政・環境ビジネスのトレンドや本市の関係計画や施策、会員の動向、ニーズを収集し、それらを基に今後の本市環境産業振興施策形成等を支援すること。

#### (4) 事業報告書の提出

事業の実施内容について成果報告書を作成すること。同報告書には、個々の業務ごとの直接的な実施結果とともに、実施結果から事業目的に寄与した点について考察することとする。また、次年度以降のG I C運営の方向性、ビジネスマッチングの創出、伴走支援対象候補に関する提言を盛り込むものとする。提出物は報告書2部(ファイル綴じ)及びその電子データとすること。

### 4 事業実施上の留意点

いずれの業務も実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する十分な感染防止のための措置を講ずることとする。また、同感染症の予防対策のため、各業務については実施形態の変更等もありうることから、事業実施にあたっては委託者と十分に協議の上、柔軟に対応すること。

### 5 業務履行上の遵守事項

- (1) 本事業の業務遂行にあたっては、委託者とともに、川崎国際環境技術展実行委員会が委託する運営業務受託事業者とも綿密に連携し、マッチングのスケジュールリング、対面式商談会の設計等について協力しながら進めること。
- (2) 本事業は、関係法令及び川崎市契約規則、川崎市委託契約約款(「個人情報の取扱いに関する情報セキュリティ特記事項」を含む)によるほか、本仕様書に基づき実施すること。なお、本仕様書に定めのない事項については委託者と受託者で協議のうえ決定する。
- (3) 業務の進捗状況や提案事項等は随時報告するなど、委託者と密に連携を図り、効果的な業務遂行に努めること。
- (4) 業務遂行上、使用した資料、根拠などはすべて明確にし、委託者に提出すること。
- (5) 受託者は、業務上知り得た情報について、公にされている事項を除き、将来にわたって、自ら利用したり、他に漏らしたり、流用してはならない。また、業務上知り得た個人情報は、委託期間終了後、速やかに委託者に返却し、電子媒体については安全・確実に消去するものとし、紙媒体・電子媒体等の形態を問わず、継続して保有しないものとする。
- (6) 本事業を行うにあたっては、創出される成果が可能な限り市内企業へ波及するように努めること。
- (7) クラスタ会員及び技術展の出展企業等が持つ製品・技術の理解・把握に努めること。
- (8) その他、この仕様書及び契約書に定めのない事項は、委託者の条例又は管理規程に定めのある場合を除いて、その都度協議して決定する。

## (参考)

### かわさきグリーンイノベーションクラスターについて

環境面で優れた取組を行う市内外の企業、NPO、大学、学識者、支援機関、行政など多様な主体で構成し、新たな取組の創出と価値の向上、社会に貢献をするネットワークを目指し、環境産業の振興に資する事業に取り組む会員ネットワーク。

(1) 規約・要綱：<https://www.kawasaki-gi.jp/gi-3-3/>

(2) 会員・協力団体数：143（令和4年3月時点）

(3) 会費：無料

(4) 機能①会員に向けた支援施策活用のための相談窓口の設置

機能②国内外の環境に関するニーズ情報の提供、公募等に関する説明会の開催、会員が有す  
環境技術等の国内外への情報発信

機能③川崎に蓄積された環境技術・ノウハウ等を活用したビジネス創出支援

### 第15回川崎国際環境技術展について

本市の脱炭素社会の実現に資する市内企業等が有する優れた環境技術や環境への取組等について国内外へ情報発信するとともに、ビジネスマッチング創出につながる交流の場の提供を通し、環境分野でのイノベーションや産業の活性化を図ることなどを主な目的とした、環境分野の展示会。今回はビジネスマッチング施策として、第15回川崎国際環境技術展の参加者を対象とした対面式の商談会等を併せて開催する。

(1) 名称：(日本語名) 第15回川崎国際環境技術展

(英語名) 15<sup>th</sup> Kawasaki International Eco-Tech Fair

(2) 開催期間：令和4年11月15日(火)～18日(金)(予定)

(会期は2日間を想定) 午前10時から午後5時まで

(3) 会場：カルッツかわさき周辺

(4) 出展者(予定数)：約100社・団体

(5) 来場者数(目標数)：10,000人(開催2日間の延べ回数)

(6) 主催：川崎国際環境技術展実行委員会

(7) 運營業務受託事業者：株式会社博展

(別紙) かわさきグリーンイノベーションクラスターPJ ヒアリングシート例

事業名 \_\_\_\_\_

|         |  |
|---------|--|
| 社名      |  |
| 担当者(役職) |  |
| 連絡先     |  |

ヒアリング日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

| ヒアリング内容                                    |    |    |
|--|----|----|
| (1) 新規事業の概要(現在の進捗状況含む)                     |    |    |
|  |    |    |
| (2) 新規事業のPR内容について                          |    |    |
|  |    |    |
| (3) 事業化までの計画(売上の見込、事業化した際、メインとなるターゲットについて) |    |    |
|  |    |    |
| (4) 事業の強み、弱みについて                           |    |    |
|  | 強み | 弱み |
| ①技術・性能                                     |    |    |
| ②ブランド                                      |    |    |
| ③資金力                                       |    |    |
| ④人材  |    |    |
| ⑤設備投資                                      |    |    |
| ⑥サプライチェーン                                  |    |    |

(別紙) かわさきグリーンイノベーションクラスターPJ ヒアリングシート例

| ヒアリング内容                         |  |
|---------------------------------|--|
| (5) 必要とする支援メニューについて             |  |
| ①技術面                            |  |
| ②事業面                            |  |
| ③資金面                            |  |
| ④知財面、その他                        |  |
| (6) 委託事業、補助事業の活用について (該当する場合のみ) |  |
| ①事業名称、期間                        |  |
| ②提案 (採択済の場合は実施) に向けた整理事項        |  |
| (7) その他                         |  |
| 現在、将来にわたって必要なことや問題点、実現、解決した点など  |  |

| 今後のスケジュール      |  |
|----------------|--|
| アドバイザーとの面談について |  |
| 日程             |  |
| 場所 (開催方法)      |  |
| 面談時まで整理すること    |  |